

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)の  
メールマガジン第157号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. 最新の活動情報
3. これからの活動情報
4. コラム『第21回大学対抗交渉コンペティションを終えて』  
京都大学法学部3年 渡部遥斗氏

---

1. トピックス

---

◆新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。  
昨年は弊法人をお引き立ていただき、誠にありがとうございました。  
本年もリーダーシップ教育普及のため精進して参りますので、  
ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

---

2. 最新の活動情報

---

◆住友グループ広報委員会のウェブサイトに、  
今年のINC大会の記事を掲載いただきました。

▼インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション後援

<https://www.sumitomo.gr.jp/committee/event/college/>

---

3. これからの活動情報

---

◆第6回 中・高等学校交渉コンペティション

日時:3月19日(日)13:00~16:00

場所:東京都立日比谷高等学校(ハイブリット開催)

後援:NPO法人GLEA/大学対抗交渉コンペティション運営委員会

---

4. 今月のリーダーシップ情報 【コラム/column】

---

京都大学法学部3年 渡部遥斗氏

『第21回大学対抗交渉コンペティションを終えて』

「来年強くなって帰ってきます。」

総合9位に終わった第20回大会閉会式にて力強く宣言した1年後、私は優勝校チームの代表として今筆をとっている。引退前最後の仕事としてこの文章を執筆できることが本当に誇らしい。ぜひ真摯に取り組みたいと思う。

本大会で我々は最高の評価を頂いた。その理由は最高の「仲間」に恵まれたからだという点に尽きるだろう。まずは本大会の出場は叶わなかったものの、前回大会で共に戦ったチームメイトである浦川夏凜、堀口実咲、彼女たちとともに悪戦苦闘した前回の経験が今回に向けた心構えを形成してくれた。旗谷亮太、森田優希、彼らの専門的な観点からの視座や手厚いサポートは成果物に厚みをもたらした。

荻原正裕、佐藤尚美、高垣涼一という2年生メンバーの活躍も大きかった。荻原は特に仲裁の部での活躍が忘れられない。内容の充実した分かりやすい弁論や相手方からの反論に対する毅然とした態度はとても大会初参戦とは思えないものであった。佐藤の強みは豊富な準備量とそれを支える謙虚さだ。分厚い本や細かい注釈書と格闘する姿、そして準備における作業量には凄まじいものがあった。高垣はチームにいつも明るい空気を持って来てくれた。彼がくれたチーム全員分のお守りがこの最高の結果をもたらしてくれたのだろう。

最後に昨年のチーム発足期からともにチームを創ってきた山口祐未には一番の感謝の気持ちを伝えたい。人一倍大変な役回りを担ってくれて本当にありがとう。チームの将来を誰よりも考えどんな役割でも担ってきた彼女に素晴らしい結果がもたらされたことが本当に嬉しくてたまらない。

私はINCを通じリーダーシップとは何かを深く考えた。行き着いた1つの答えはリーダーシップに正解はなく自分にとっての解が仲間への愛や尊敬の念であったということである。人間的に成長させてくれたINCや仲間に関心からの感謝を抱き引き続き精進したい。

【編集者注：文中の個人名につきましては、本人から同意をとられているとのことですので、原文のまま掲載しています。】

---

## 情報募集中

---

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、  
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、  
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さい。

---

## 本メールマガジンについて

---

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は  
「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====  
発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション  
発行責任者：野村 美明  
編集者：事務局 神谷 留奈  
(TEL)070-6560-2633  
(FAX)06-6853-3081